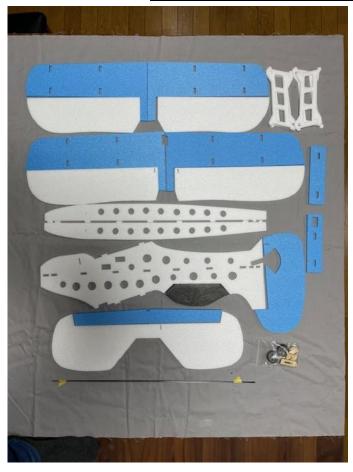
#### TAM-30 制作説明書 2023年12月復刻版

キット部材

# 飛行重量 220 g

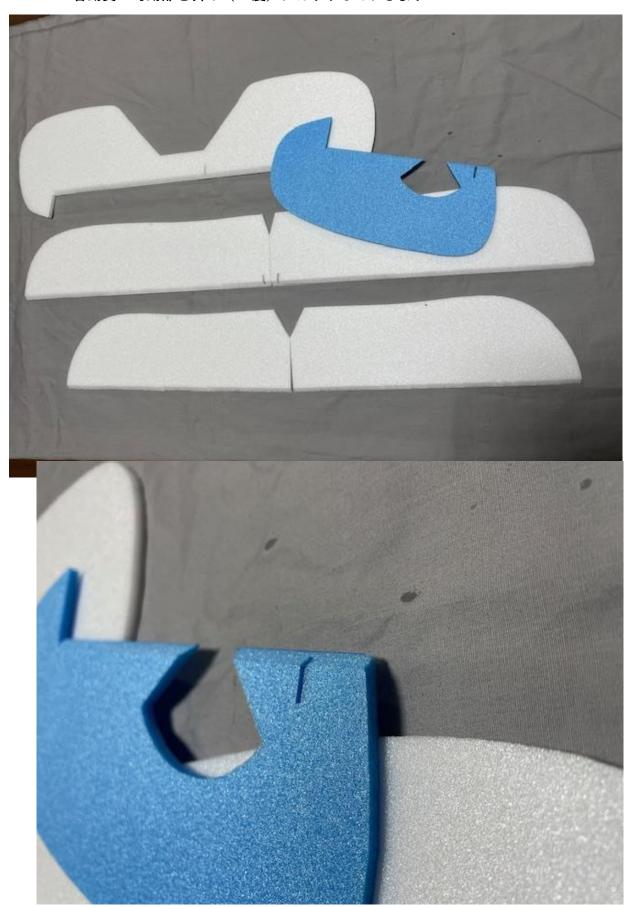


カット済みキット(発砲素材)	1式	
脚部用1.2mmピアノ線	1本	
リンケージ用竹ひご	3本	
リンケージ用0.7mmピアノ線	1本	
リンケージ用収縮チューブ		1
モーターマウント		1
動翼用ホーン		4
脚部取付補強板〇型及び角型		4
タイヤ		2
説明書は同封しておりません		

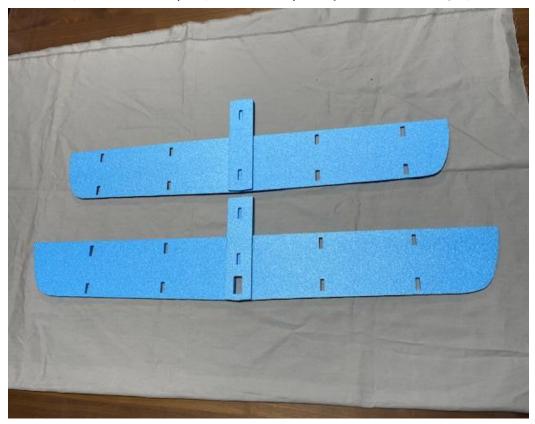
#### 製作に必要なもの

ペンチ・ラジオペンチ・収縮チューブを収縮させる為の半田コテ グルーガン(ホットボンド)・カッター・定規等 \*組み立てはホットボンドのみで可能です。 モーター取付用及び動翼用10 mmグラステープ

1 各動翼の可動部を斜め(45度)にカットしておきます



## 2 主翼と下翼を組み立てます 全てグルーガン(ホットボンド)で組み立てています



3 エルロンを取り付ける (10mmグラステープ又はヒンジテープ又はセロテープを使用)

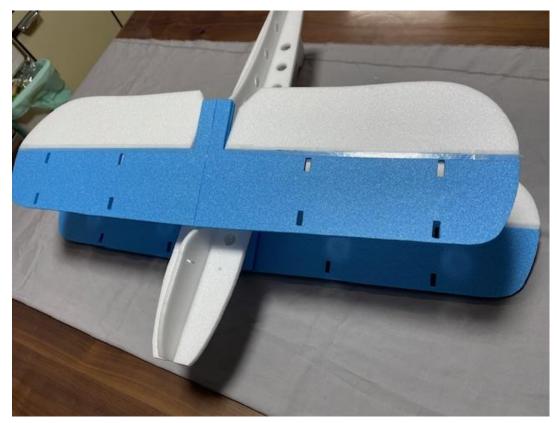


## 4 胴体を組み立てる

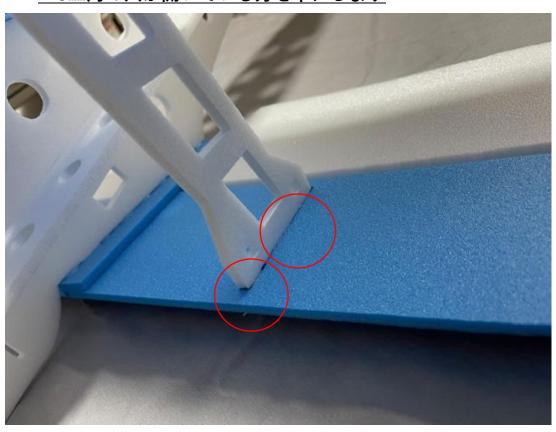




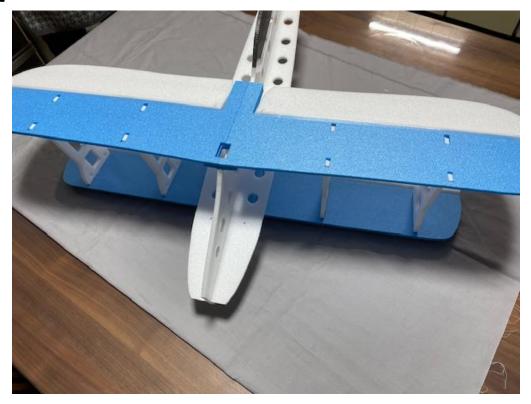
## 5 主翼と下翼の取付



6 上下翼の連結材を接着します \*3mm角の穴が開いている方を下にします



# 6 の続き



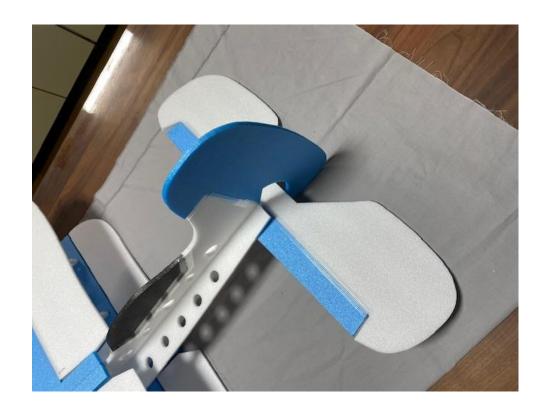
7 水平尾翼にエレベーターを取り付ける



## 8 水平尾翼を胴体に接着する



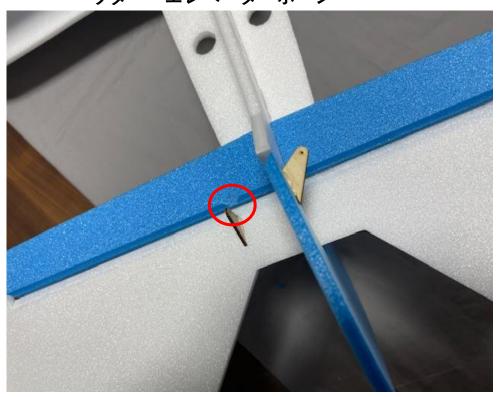
9 ラダーを取り付ける



# 10 各ホーンを接着する エルロンホーン

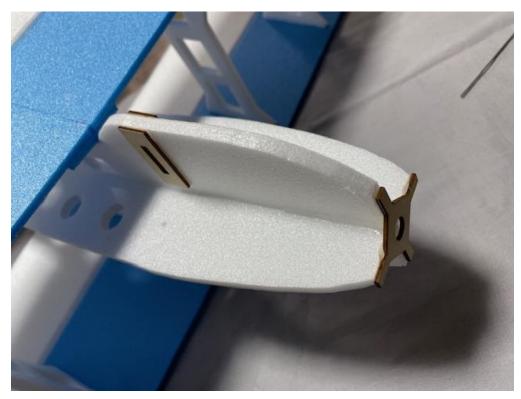


ラダー・エレベーターホーン

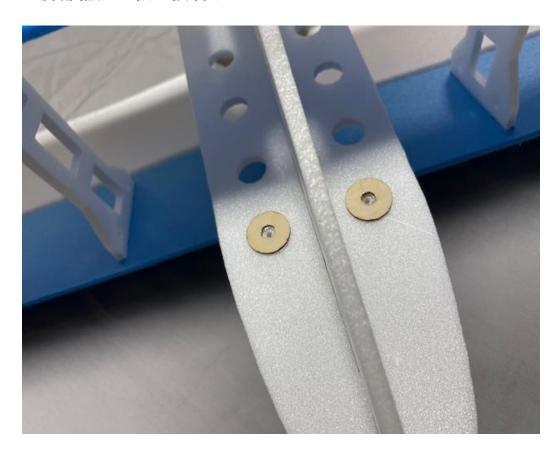


\* エレベーターホーンが接触するのでカッターで溝を入れて下さい

## 11 モーターマウントと脚部補強板を接着する

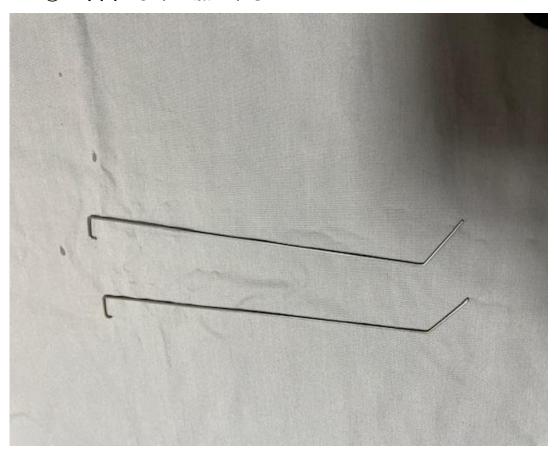


12 脚部補強〇板を接着する



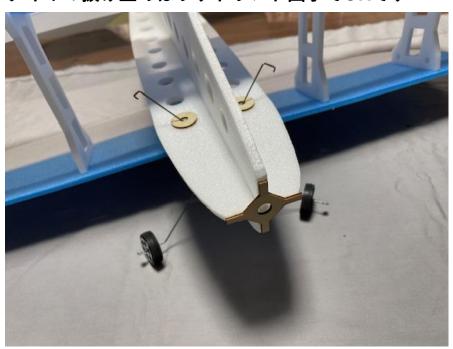
## 13 脚部ピアノ線の加工

- 1.2mmピアノ線を21cm×2本切る
- ② 下図のように加工する



#### 14 脚部取付

下図のようにピアノ線を通し、先にタイヤを取り付けます タイヤの抜け止めはホットボンド団子でOKです



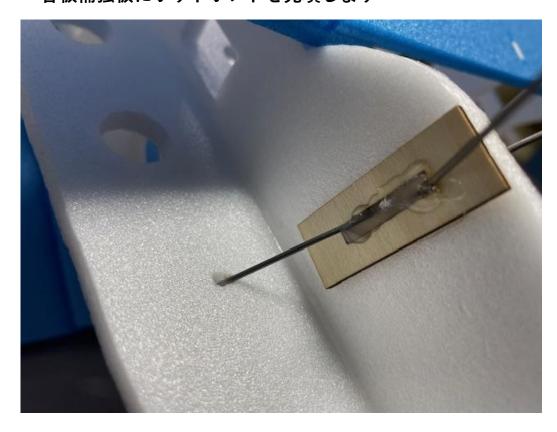
タイヤをホットボンド団子で止める



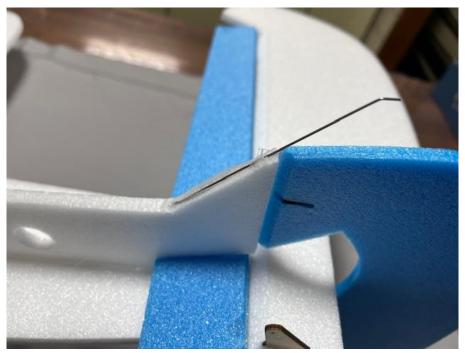
15 脚部の固定(\*タイヤを平行に) タイヤが平行になるように調整しながら脚用ピアノ線を固定します 平行になっていないと離着陸がしにくいので注意



# 15の続き 各板補強板にホットボンドを充填します



16 尾輪(尾ソリ)の取付0.7mmピアノ線を利用して尾ソリにします



お疲れさまでした、生地完成です

メカ搭載及びリンケージ

# 写真参照の上お願いします

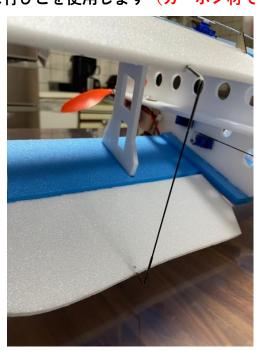
エルロンサーボは9gサーボを使用

0.7mmピアノ線を加工して下さい(中間を収縮チューブで接続調整)

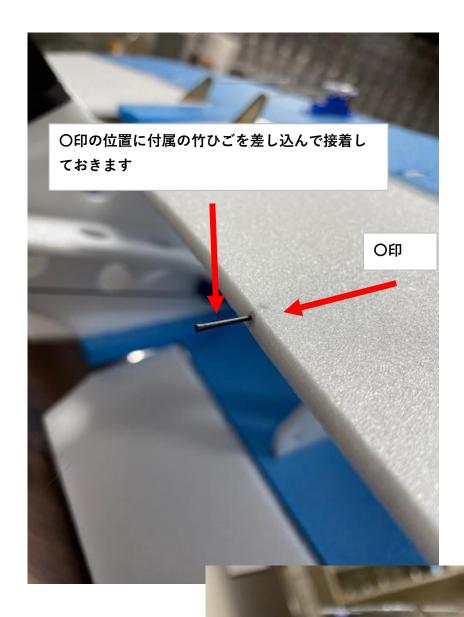
重心位置 モーターマウント (モーター含まず) から16cm



上下エルロンの連結部<br/>連結は竹ひごを使用します(カーボン材ではありません)



#### 上下エルロンの連結部 続き



連結部は付属の黒又は透明の 収縮チューブを使用します

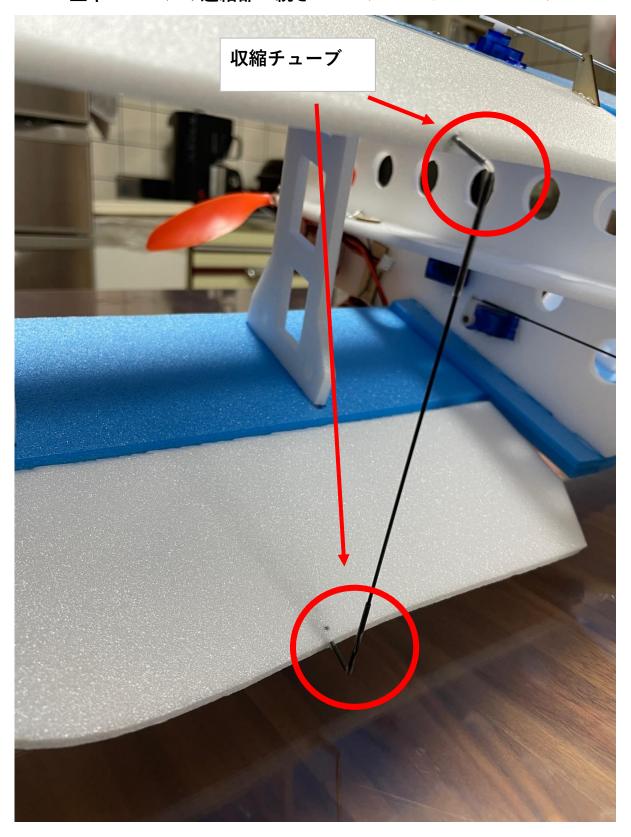
連結材は3mm竹ひごです

(カーボン材ではありません)

#### 連結材は竹ひごです

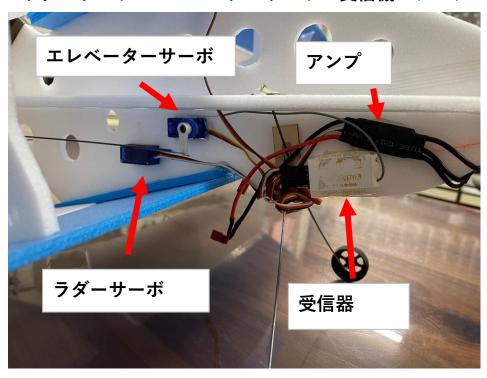
上下エルロンの連結部 続き

(カーボン材ではありません)

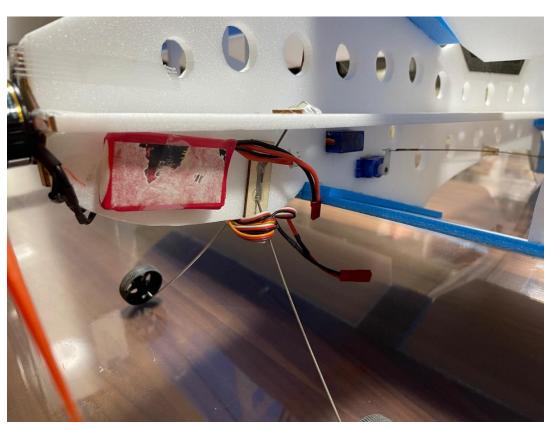


## 重心位置 モーターマウント (モーター含まず) から16cm

ラダーサーボ エレベーターサーボ 受信機 アンプ



バッテリー搭載例 重心位置により加減して下さい 360mm~450mmバッテリーを搭載



# 重心位置 モーターマウント(モーター含まず)から16cm

## "スローフライトを存分にお楽しみくださいませ"

#### 飛行重量は200gを超えています、機体登録及びリモートID搭載が必要です

推奨モーター 2204~2206 KV値 1000~3000

推奨 アンプ 20A

推奨ペラ 8040~9060

推奨サーボ SG90 9 Gサーボ

推奨バッテリー 360mA~450mA 7.4V リポ

飛行重量100gを超える機体は登録及びリモート I D 搭載が必要です

機体登録は自作機登録でお願いします(機体型名は任意でお決め下さ)